伊藤キム

Kim ITOH

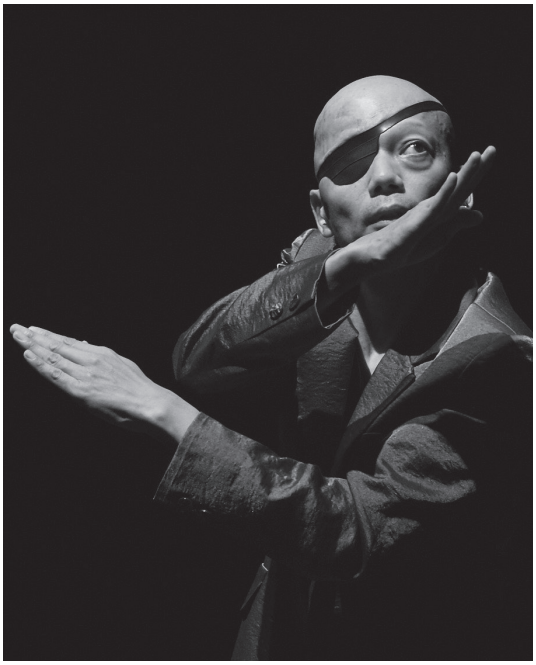

Photo:鈴木稼蔵

ダンサー・演出家・振付家・伊藤キム＆GERO主宰。87年舞踏家・古川あんずに師事。95年「伊藤キム＋輝く未来」結成。96年フランス・バニョレ国際振付賞、02年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。05年にバックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う一方、小中高校生に振付をして作品上演するプロジェクトにも多数参画している。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。15年新カンパニー GEROを結成。時にはダンス寄り、時には演劇寄り、また時には音楽や美術寄りと、作品ごとに方向性がどんどん変わるのがGEROの特徴で、劇場に限らずギャラリーや屋外などにも展開し、瀬戸内国際芸術祭、いちはらアートミックスなど各種芸術祭にも参加している。

所属カンパニー　GERO
ホームページ　http://www.gero.kim
住　　所　〒225-0003　神奈川県横浜市青葉区新石川4-29-4　E-501
電話・FAX　045-911-7504
E-mail　gero.kim.2015@gmail.com
在住地　神奈川県横浜市
出身地　愛知県知立市

活動歴・受賞歴

○活動歴

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

ワークショップ歴

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

❶「学校ダンスジャック～伊藤キムがやってきた！」
昼食・給食の時間に伊藤キムが突然現れて校内でゲリラで踊りまくる。廊下を走る、教室に乱入する、運動場を走り回るなど。他のアーティストにはない強烈なインパクトで子どもたちに「非日常体験」をもたらす。午後の WS の前に行うと WS の進行がよりスムーズ。これまで小中高校で 10 回以上実施。

❷「学校ワークショップ～遊びを通じて、考えながら動く」
日常的な動きを題材に頭と身体の両方を使うことで子供たちに新たな気づきを促す。

※上記ダンスジャック及びワークショップは、福祉施設などでも実施可能。
▶参加適正人数：❶全校生徒、❷5～80 名
▶アシスタントの有無：1名必要
▶1日の実施可能回数･時間：❶1回、❷2コマ ※1コマ45 分
▶必要機材等：❶音楽など必要なし。❷iPod を接続できる音響プレーヤー、ピンマイク
▶場所：❶は会議室から体育館まで対応可能
▶その他：ワークショップのみの実施も可能

公募ワークショップ

❶一般ワークショップ
年齢・性別・経験不問。

❷女性限定ワークショップ
過去の例：衣装を持ち寄って変身体験。過去の参加者のアンケートより「男性がいないから雰囲気がいい」

❸男性限定ワークショップ
過去の例：後半は街頭に出て踊りながら街を練り歩く。参加者アンケートより「女性がいないから思い切りバカになれる」

❹演奏家対象ワークショップ
クラシック音楽の奏者が対象。呼吸や重心を意識することで演奏をより豊かにする。後半でダンサーとのコラボメニューもあり。参加者アンケートより「普段気づけない身体の『芯』を感じることができた」

❺親子でワークショップ
音楽に合わせて思い切り動いてはしゃいだり、普段家庭ではできない身体の触れ合い遊びやコミュニケーションを実践。

▶参加適正人数：5～20 名程度
▶アシスタントの有無：1 名
▶1 日の実施可能回数・時間：3 コマ　※1コマ 90 分
▶必要機材等：iPod を接続できる音響プレーヤー

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

『病める舞姫』(ソロ作品)
題材は舞踏の始祖・土方巽の著作『病める舞姫』。地を這いながら空中を漂うような一筋縄ではいかない言葉たちに出会い、格闘し、フラレて、すがりついて、引きずり回される。シャーマン＆語り部となって、日常と非日常のはざまでとめどなく続く言葉と身体の追いかけっこを先導する。初演2018年日暮里d-倉庫。2020年2月横浜・かなつくホールで再演。2021年3月に愛知、京都、6月にパリをツアー予定。
▶上演時間：60分
▶演出・振付・出演：伊藤キム
▶使用する会場、床の状態、スタッフは要相談

市民参加作品

上演するホール・場所の特性を生かし、かつ地域の事情も踏まえ、ホール担当者の意見を伺いつつ「どんな人たちをどんな場所まで連れていくのか？」といったことを考慮して作品イメージやタイトルなど考えていく。その地域の音楽家や美術家など、地元アーティストとのコラボも視野に入れたい。

▶出演者数：伊藤キム、GEROメンバーアシスタント兼任1～2名
▶同行スタッフ：舞台監督1名